

## 買い物代行「アカハイ！」

### IT活用 社内体制強化

赤田運輸業 赤産

【岡山】赤田運輸産業(赤田健社長、岡山県笠岡市)は、新型コロナウイルスの感染拡大が続く中で地域社会に貢献するため、買い物代行をメインとするサービス「アカハイ！」を開始した。また、社内では米検索大手グーグルが提供している複数のクラウドツールを統合したオフィスパッケージ「GSuite(ジースイー)」を導入。将来は顧客対応を含めた

「新習慣へのチャレンジ」を示す井上課長



マーケティングに活用していく方針だ。アカハイ！は、笠岡市、浅口郡里庄町の地域限定サービスで、5月1日から開始。新型コロナウイルスで外出を自粛している家庭のほか、近隣に小売店が無い人や、忙しくて買い物に行けない人に、野菜や弁当、生鮮食品、日用品などを買って届ける。対応可能時間は平日の午前10時～午後5時。料金は30分1千円で、キャッシュレス支払い(ペイペイ)

にも対応している。専属社員を1人配置しており、今後も地域の困り事に柔軟に対応する構えだ。一方、ジースイーではオンラインでテーマに沿った会議を行うほか、顧客の問い合わせに際したり、顧客をきめ細かく管理して定期訪問や新サービスにつなげ、一営業マンの手腕に頼らない体制をつくる「方針だ。オンライン会議は既に、県外からの応募者3人に対する採用面接にも活用。数年後には荷主や同業者と連携する仕組みも構築していく。

同社はコロナ禍の中でも人材育成に力を入れており、社員がソーシャルディ

スタンス(社会的距離)を保てる総合体育館で研修会を2回にわたって開催。また、「新しい習慣へのチャレンジ」をテーマに掲げ、2020年は禁煙に挑戦。半年間の禁煙を達成した社員に金一封を贈呈した。営業部の井上貴司課長・プロジェクトマネージャーは「委員会活動も活発に行っているほか、秋口には新しい基幹システムも導入する。また、今後は広報活動も強化していく。コロナ禍の中で経営環境は厳しいが、社員一丸となって難局を乗り切り、顧客により良いサービスを提供していきたい」と話している。

(江藤和博)